

BEST VALVE MAINTENANCE

確かな技術 不撓不屈の挑戦



60th
ANNIVERSARY

会社案内 *Company Brochure*



ウツエバルブサービス株式会社

01

バルブメンテナンス

当社は、原子力発電所、火力発電所、石油プラント、エコプラント施設、各種発電プラント施設などのハイクオリティを要求される現場でバルブの総合メンテナンスを行っている会社です。

数千種類に及ぶバルブに関するノウハウを有し、駆動機構やメーカーを問わず、国内外の製品に対応しており、お客様のニーズに応えられる知識と技術を提供しています。

01

Valve Maintenance
バルブメンテナンス

03

UJD hydraulic jack
UJD型油圧ジャッキ

02

Construction Management
施工管理

02

施工管理

緻密な工程管理でクリティカルパスを最適化し、限られた停止期間内での工期遵守と最大効率を実現します。品質管理では厳格な検査によりバルブの健全性を担保し、確かな信頼を保証。放射線管理においては、ALARA原則に基づき被ばく線量を最小化します。そして、現場規律を徹底した安全管理によりゼロ災害を追求します。これら4軸の高度な統制により、高品質かつ安全な施工を完遂します。

03

UJD型油圧ジャッキ

当社は、火力発電所の高圧安全弁から、ごみ焼却炉排熱ボイラの低圧安全弁までメーカーを問わずあらゆる安全弁の点検・整備に対応しています。中でも、自社で開発した油圧ジャッキを用いた封鎖試験は、現場での高精度かつ効率的な点検を可能にし、多くのお客様から高い評価をいただいています。長年にわたり培ってきた技術と熟練の技能、そして独自技術によって、お客様の設備の安全と安定稼働を力強く支えています。



暮らしに欠かせない「電力」の安定供給を 最高のバルブメンテナンス技術で支える

◇ 確かな技術と経験で、全国のプラントのバルブを支える

私たちは常にお客様の目線に立ち、誠実にバルブと向き合っています。お客様にご満足いただける品質をご提供するために、日々たゆまぬ努力を続けております。発電所の安全運転に、半世紀にわたり貢献してきた実績とノウハウは、今もなお受け継がれています。メーカーを問わず、幅広いバルブに対応できることが、私たちの大きな強みです。全国6拠点（北海道・青森・宮城・福島・新潟・千葉）の事業所と東京営業所を展開。全国各地からのご要望に迅速・柔軟に対応できる体制を整えております。

◇ 技能訓練センター

技能訓練センターでは、長年培われた熟練の技を次世代へ繋ぐ「技術伝承」に注力しています。現場で生きる実践的な技能と、ものづくりへの真摯な姿勢を継承すべく、日々訓練を重ねております。伝統の研鑽と新たな挑戦を通じて、バルブメンテナンスの未来を支える確かな人材を育成してまいります。

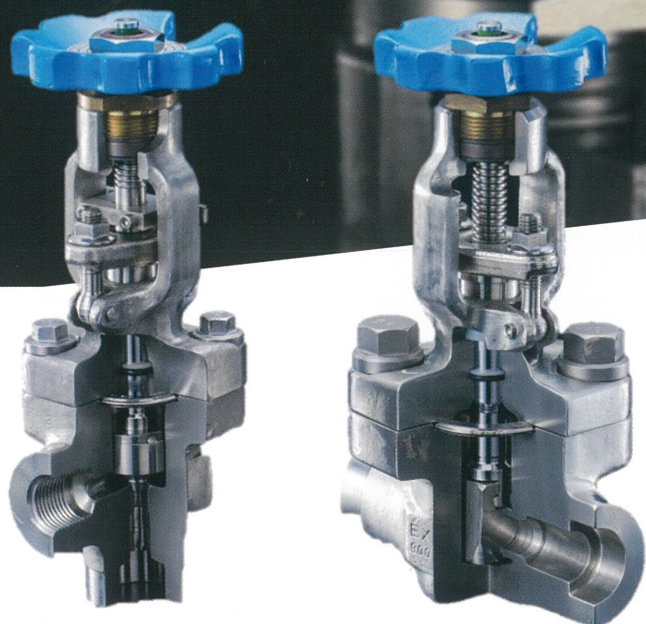
◇ Value Engineering VE(Value Engineering)提案

最適な性能や機能を維持しながら、コストを最小限に抑えることを目的として、製品やプロセスの開発・設計を実施し、最適なプランをご提案しております。



HCU改造弁

バルブメンテナンスの 観点から生まれた改造弁



HCU改造弁は、1984年にBWRプラントの制御棒駆動水圧系に設置された米国製小型弁（圧力クラス900以下）に対し、操作性の向上、グランドリーク対策、弁体破損などのトラブル防止を目的として開発しました。

さらに、2012年には、ABWRプラント向けにクラス1250のHCU改造弁を新たに開発し、より一層の信頼性と機能性の向上を図っています。

HCU改造弁の特徴

- ◆グランドシール部に「Oリング+Vパッキンの二重構造」により気密性の向上と共に摺動抵抗を大幅に低減。
- ◆パッキンの応力緩和がなくなり、増し締め不要。
- ◆弁棒の頂部に開度指標を設けることで、離れた位置からでも弁の開閉状態を容易に確認可能。
- ◆弁上廻り部品を交換するだけで、改造弁への変更が可能。
- ◆ハンドル上面に弁番号の表示タグを取り付けることで、識別が容易になり誤操作等防止。



健康モニタリングサービス コアット

身につけることで心拍数・血圧・体温などのバイタルデータをリアルタイムで取得できる体調管理のためのシステム

屋外労働者の健康リスクを低減



熱中症対策

体温の急な上昇や血圧の変化などを、リアルタイムで見ることができ、気づきにくい熱中症の初期段階も察知します。



安全管理

単独で作業をしている労働者が負傷したとしてもGPS機能で居場所を特定、追跡できるので早急な発見が可能です。



体調異変

異常は警告としてわかりやすく表示されるため怪我や病気の兆候を早期に発見でき、適切な処置を素早くとることができます。



社会の鼓動を支え、次なる半世紀へ

当社は昭和44年の創立以来、発電所や各種プラントの安定稼働を支える「バルブメンテナンス」の専門企業として、歩みを止めることなく社会基盤の維持に貢献してまいりました。産業の血管とも言える配管の流量を制御するバルブは、まさに経済・生活の根幹です。私たちはその重要性を深く認識し、プロフェッショナルとしての自信と誇りを持って日々の業務に取り組んでおります。これまでの成長を支えてくださったお客様、地域の皆様、そして社員への感謝を胸に、私たちは今「さらなる成長とイノベーション」という新たな目標を掲げています。変化し続ける業界ニーズに柔軟に応えるため、常に最新技術を追求し、信頼と品質を第一とした最適なソリューションを提供し続けます。

社員一人ひとりが能力を最大限に発揮し、互いに高め合える環境を整備することが、組織としての強さに直結すると確信しています。また、持続可能な社会の実現に向けた環境配慮や地域貢献にも注力し、皆様から真に信頼される企業であり続けるよう、全力で邁進してまいります。今後とも、変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 石森 浩明

品質方針

1. わが社は、常に人材の育成に取り組み、技術・技能の研鑽と開発を行い、安全で最高品質の工事を提供します。
2. わが社は、ステークホルダーとの自由かつ公平な信頼関係を築き、公正で透明性の高い情報開示を行います。
3. わが社は、社内のすべての活動に対し、PDCAサイクルを廻し、全社大における品質マネジメントシステム(QMS)の質的改善を継続的にを行います。



電力会社

- ・ 東京電力ホールディングス株式会社
- ・ 中部電力株式会社
- ・ 東北電力株式会社
- ・ 北海道電力株式会社
- ・ 北陸電力株式会社
- ・ 日本原子力発電株式会社
- ・ 鹿島共同火力株式会社
- ・ 鹿島南共同発電株式会社
- ・ 君津共同火力株式会社
- ・ 常磐共同火力株式会社

主要取引先 MAIN CLIENT



電力関連会社

- ・ 東京パワーテクノロジー株式会社
- ・ 東北発電工業株式会社
- ・ 株式会社東京エネシス
- ・ 北海道パワーエンジニアリング株式会社
- ・ 株式会社中部プラントサービス
- ・ 東電設計株式会社



その他の業種

- ・ ウツエバルブ株式会社
- ・ 株式会社日立ハイテク
- ・ 轟産業株式会社
- ・ 丸紅ユティリティ・サービス株式会社
- ・ 株式会社KANSOテクノス
- ・ 東双ファシリティ&サービス株式会社

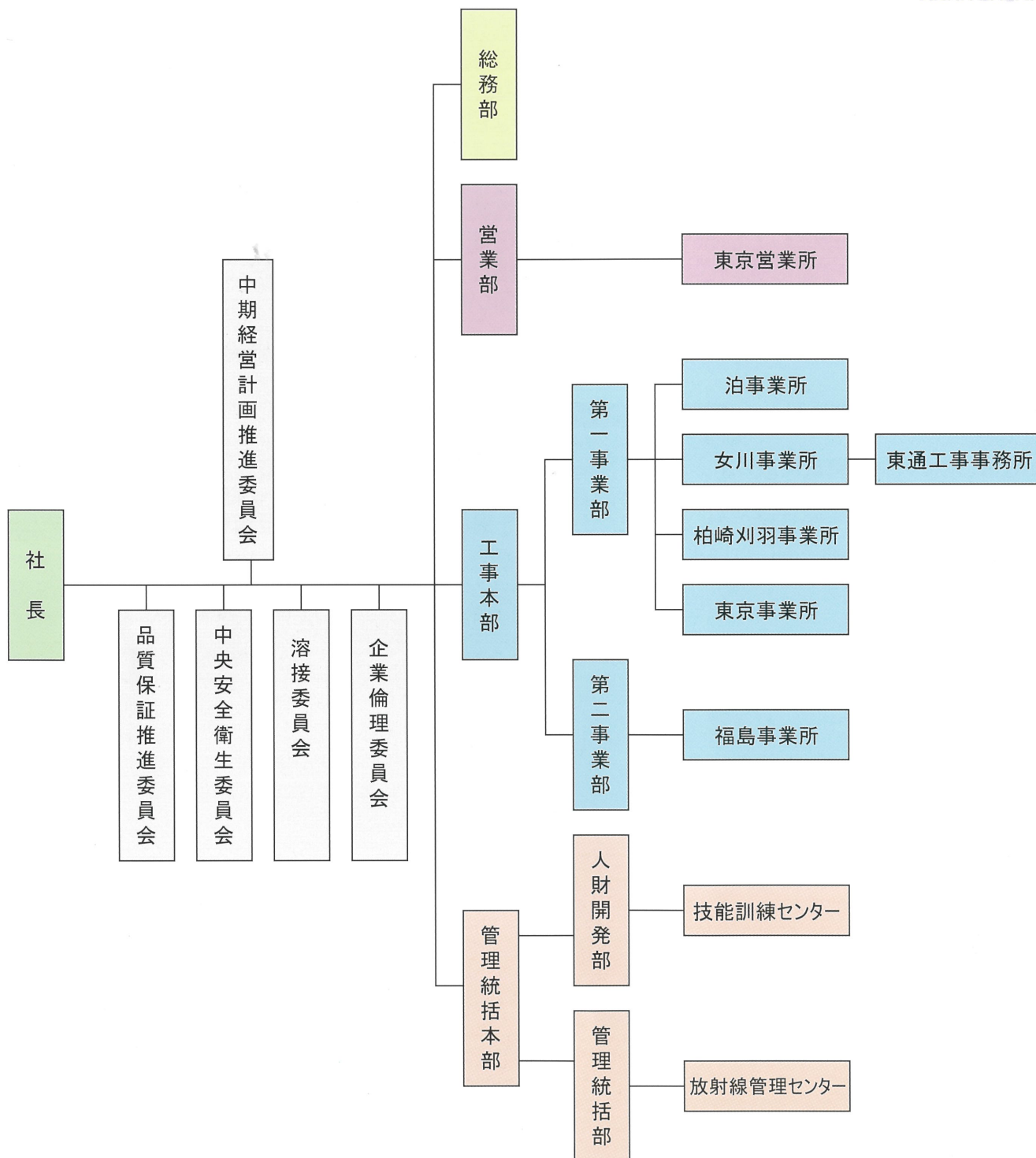


プラントメーカー

- ・ 株式会社東芝
- ・ 東芝プラントシステム株式会社
- ・ 株式会社タクマ
- ・ 日立GEニュークリア・エナジー株式会社
- ・ 太平電業株式会社
- ・ 新日本空調株式会社
- ・ 株式会社荏原製作所
- ・ オルガノ株式会社

組織図

ORGANIZATION CHART



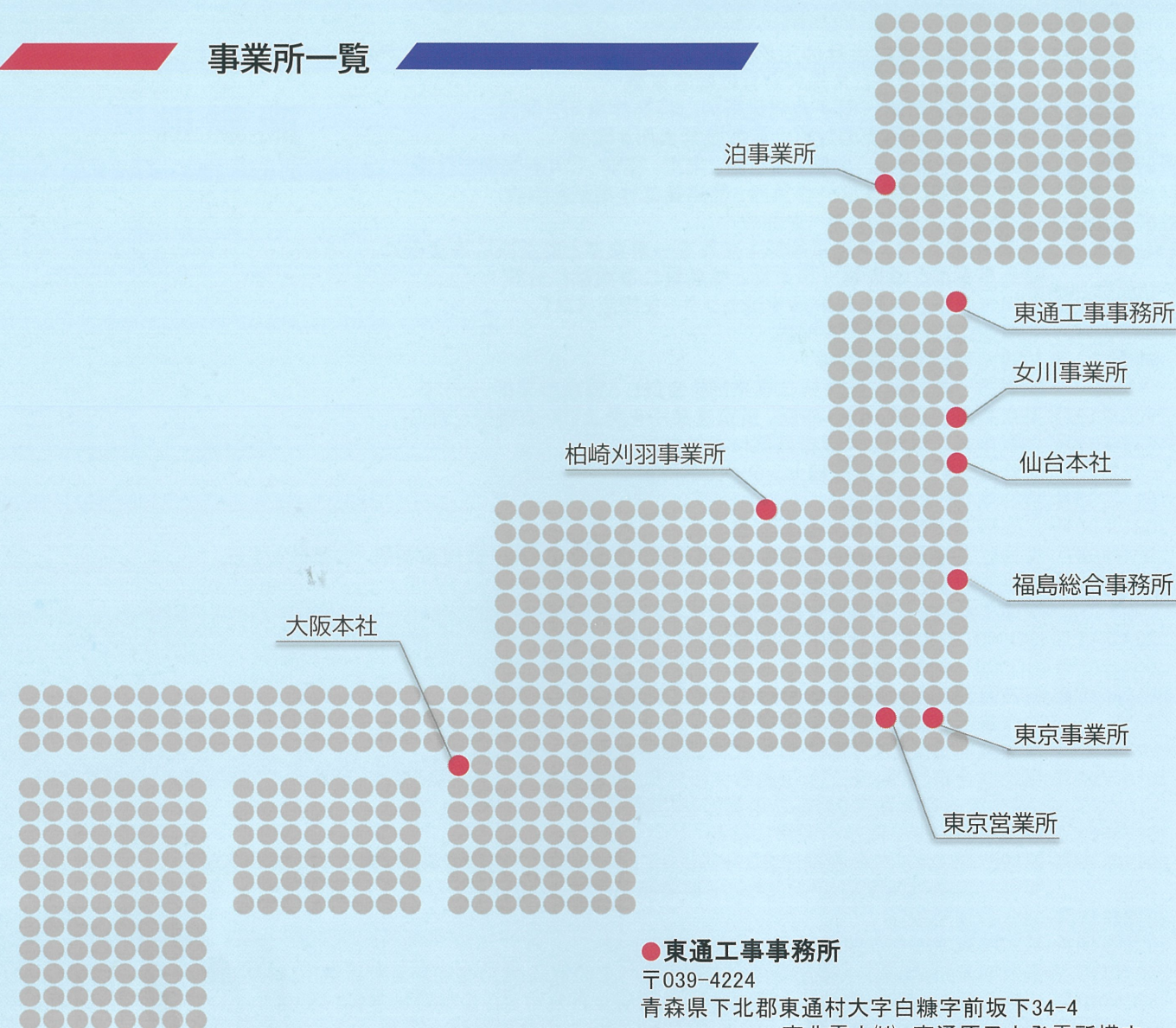
会社沿革

- 1969年03月 ウツエバルブ株式会社のメンテナンス部門を分離し、3月22日バルブサービス株式会社として発足
1969年05月 ウツエバルブサービス株式会社に社名変更
1974年09月 東京電力福島第一原子力発電所内に福島作業所を開設
1975年12月 中部地区事業拡大のために名古屋営業所を開設
1979年08月 事業部制を導入し 大阪、名古屋、東京、福島 に4事業部を設置
1982年06月 福島事業部に福島第一作業所、福島第二作業所を開設
1983年07月 福島地区に研修センターを開設
1985年08月 組織変更により、東京事業部を東京第一事業部と東京第二事業部に、
福島事業部を福島第一事業部と福島第二事業部に分割
1986年10月 女川作業所を開設 放射線管理センターを設置(4月)
1989年04月 北海道に岩内事務所を開設
1990年04月 柏崎刈羽作業所の開設
東京第一事業部、東京第二事業部を合併し 東京事業部 とする
1990年12月 東京事業部を袖ヶ浦へ移転、東京営業所を廃止しその機能を統合
1991年07月 大阪市大正区から大阪市西区に本社移転
1995年07月 研修センターを技能訓練センターに名称変更
1997年05月 特許第1号取得(HCU)
2001年06月 大阪事業所を名古屋事業所に併合
2004年03月 青森駐在事務所を外し 青森工事事務所 と名称変更し 女川事業所 の所管とする。
2004年04月 東京営業事務所を新設
関連子会社として株式会社ビックライズを設立
2004年11月 ISO9001-2000(本社・柏崎刈羽事業所)取得
2006年05月 ISO9001-2000(福島第一事業所、福島第二事業所を追加)
2010年10月 名古屋事業所/浜岡工事事務所を名古屋事業所へ名称変更
泊作業所を泊事業所へ名称変更
2014年07月 福島復興事業のため新プロジェクト事業所を開設
2016年04月 福島総合事務所を新設し福島事業所を開設、同施設内に新プロジェクト事業所・技能訓練センターを移転
(福島第一事業所・福島第二事業所を閉鎖)
2017年02月 東京事業所を千葉縣市原市に移転
2017年10月 組織改編により工事管理部を3分割し、北日本事業部、福島事業部、東日本事業部を設置
青森工事事務所及び新プロジェクト事業所をそれぞれ東通事業所及び浜通事業所へ名称変更
2019年11月 仙台事務所新設
2020年10月 名古屋事業所を浜岡出張所へ名称変更
2021年10月 東京事業所傘下の浜岡出張所におけるすべての組織業務機能を東京事業所に吸収・統合
2022年10月 組織改編により技術・人財開発本部と品質安全部を統合し管理統括本部へ変更
2023年04月 組織改編により福島事業所と浜通事業所を統合し福島事業所へ変更
2025年07月 仙台に本社を移転し大阪本社は規模を縮小・仙台事務所は仙台北社に統合

商号	ウツエバルブサービス株式会社
設立	1969年 3月22日設立
資本金	8,300万円
事業内容	原子力および火力発電所、石油化学プラント等のバルブ、管およびこれに関する機械、計測設備のメンテナンス工事ならびにバルブ等の製品及び部品の販売
仙台北社	〒983-0039 宮城県仙台市宮城野区新田東3丁目5番地1 ASMACI仙台TMビル 2F
大阪本社	〒550-0013 大阪府大阪市西区新町1丁目3番12号
東京営業所	〒108-0014 東京都港区芝5丁目19番4号
事業所	【第一事業部】泊事業所、女川事業所/東通工事事務所、柏崎刈羽事業所、東京事業所 【第二事業部】福島事業所
取引銀行	商工組合中央金庫 大阪支店、りそな銀行 大正支店
従業員数	社員108名、嘱託32名、主任技術者44名
ISO認証	JIS Q9001:2015 (ISO9001:2015) 登録番号: JET-0912 仙台北社、大阪本社、東京営業所、柏崎刈羽事業所、女川事業所/東通工事事務所 泊事業所、福島事業所、東京事業所、福島総合事務所
建設業	一般建設業: 電気工事業、機械器具設置工事業 特定建設業: 管工事業、土木工事業
労働者派遣事業	派27-302424

会社概要

事業所一覧



● 仙台本社

〒983-0039

宮城県仙台市宮城野区新田東 3丁目5番地1

ASMACI仙台TMビル 2F

TEL 022-799-7066 / FAX 022-799-7067

● 大阪本社

〒550-0013

大阪市西区新町1丁目3番12号

TEL 06-6543-8870(代) / FAX 06-6543-8871

● 東京営業所

〒108-0014

東京都港区芝5丁目19-4

TEL 03-5730-6468(代) / FAX 03-5730-6469

● 泊事業所

〒45-0201

北海道古宇郡泊村大字堀株村字へロカルウス789

泊発電所保修事務所内

TEL 0135-75-2336(代) / FAX 0135-75-3867

● 東通工事事務所

〒039-4224

青森県下北郡東通村大字白糠字前坂下34-4

東北電力(株) 東通原子力発電所構内

TEL 0175-46-3015(代) / FAX 0175-46-3016

● 女川事業所

〒986-2221

宮城県牡鹿郡女川町塚浜字前田1番地

東北電力(株) 女川原子力発電所構内

TEL 0225-54-4507(代) / FAX 0225-53-2082

● 柏崎刈羽事業所

〒945-0016

新潟県柏崎市青山町字小丸山3-1

東京電力ホールディングス(株) 柏崎刈羽原子力発電所内

TEL 0257-45-5223(代) / FAX 0257-45-5318

● 福島総合事務所 (福島事業所・技能訓練センター)

〒979-0513

福島県双葉郡楢葉町山田岡字大堤入49-1

TEL 0240-25-8386(代) / FAX 0240-25-8387

● 東京事業所

〒299-0111

千葉県市原市姉崎860-1

TEL 0436-98-5676(代) / FAX 0436-98-5677

